

4 がん種別 悩みや負担の比較：症状・副作用・後遺症

(1) 「症状・副作用・後遺症」に関する悩みや負担の変化

今回の調査で、4つの柱のうちの一つである「身体の苦痛」(大分類「症状・副作用・後遺症」)は、第2位を占めていた。そこで、「身体の苦痛」の実態を詳細にみていくために、具体的な悩みが分類項目名になっている細分類 183 項目 (細分類の分類項目数) ごとの件数を整理し、第一次調査結果と比較した。

全体を通じての大きな変化は、薬物療法に関する悩みや負担の割合が顕著に増加したことである。主要5大がんでは、特に、大腸がん、肺がん、乳がん、胃がんでの薬物療法に関連した悩みや負担が増加している。

図 4-1 「症状・副作用・後遺症」の薬物療法に関連した悩みや負担 (全体)

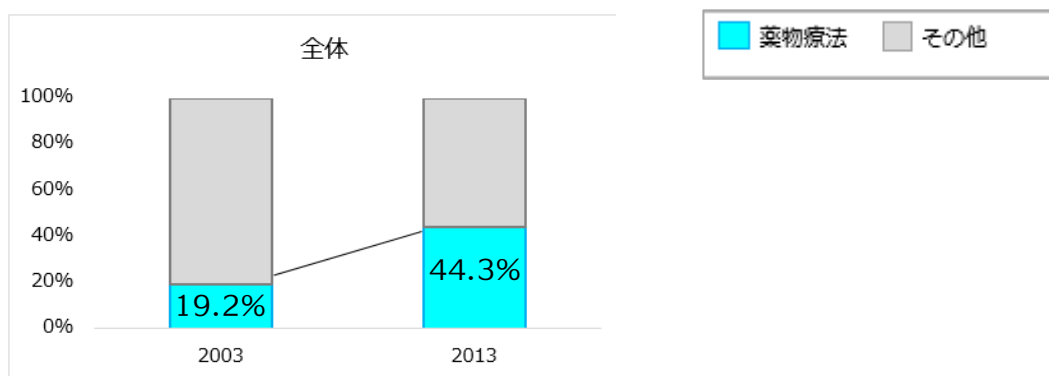


表 4-1 主ながん種別 「症状・副作用・後遺症」の薬物療法に関連した悩みや負担

		乳がん	大腸・直腸がん	肺がん	胃がん	子宮がん	全体
2003	薬物療法	281	58	51	46	63	752
	件数 (%)	(30.2%)	(11.2%)	(22.9%)	(7.2%)	(17.7%)	(19.2%)
	全体件数	929	516	223	639	356	3,915
2013	薬物療法	467	131	70	68	26	967
	件数 (%)	(60.5%)	(52.2%)	(59.3%)	(26.6%)	(8.8%)	(44.3%)
	全体件数	772	251	118	256	294	2,182

注) 表の数字の説明

◎薬物療法件数 (%) : 「症状・副作用・後遺症」のうち、小分類「抗がん剤による副作用の症状」、「抗がん剤の副作用の持続」の2つの小分類に分類された悩みや負担の件数。なおホルモン療法に関しては、手術と薬物療法どちらの症状か判断しにくい事例もあるため、今回は、件数には加えていない。

◎全体件数 : がん種別の大分類「症状・副作用・後遺症」に分類された悩みや負担の件数

(2) 「症状・副作用・後遺症」の悩みや負担：上位 10 位

a) 全体の比較

2003 年の調査時に比べ、全体的に、薬物療法（抗がん剤、ホルモン薬、分子標的薬による治療）の副作用症状に関連した項目が増加している。特に、末梢神経障害や外見の変化（爪、皮膚障害）による症状の増加が顕著である。なお、今回の調査の第 1 位が「抗がん剤による副作用症状（その他）」になっているのは、分子標的薬や他新薬の登場で 2003 年の分類ラベルにはなかった症状が生じてきていることも影響している。

表 4-2 “症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	抗がん剤による脱毛	1	抗がん剤による副作用症状(その他)
2	抗がん剤による副作用症状(その他)	2	抗がん剤による脱毛
3	持続する術後後遺症（痛み・肩こり）	3	抗がん剤による末梢神経障害（しびれ、違和感等）
4	リンパ浮腫によるむくみ	4	治療後の体力低下・体力回復
5	持続する術後後遺症(その他)	5	リンパ浮腫による症状(その他)
6	薬物療法による吐き気	6	持続する術後後遺症(その他)
7	治療後の体力低下・体力回復	7	抗がん剤による副作用の持続(その他)
8	ホルモン剤治療による更年期症状	8	抗がん剤による食欲不振や味覚変化
9	(持続する症状) 痛み	9	持続する傷跡とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感等
10	罹患前の状態に戻れるか	10	今後の健康管理

b) 乳がん

全体の傾向と似ているが、より顕著に薬物療法の多様な副作用症状が上位にあがってきている。その多くは、治療終了後も長期化する症状(末梢神経障害によるしびれや脱毛など)や日常生活にも影響がある症状等である。

表 4-3 乳がん体験者の“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	抗がん剤による脱毛	1	抗がん剤による脱毛
2	抗がん剤による副作用症状(その他)	2	抗がん剤による副作用症状(その他)
3	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など	3	抗がん剤による末梢神経障害(しびれ、違和感等)
4	リンパ浮腫によるむくみ	4	抗がん剤による副作用の持続(その他)
5	持続する術後後遺症(その他)	5	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など
6	抗がん剤による吐き気	6	リンパ浮腫による症状(その他)
7	治療後の体力低下・体力回復	7	抗がん剤の副作用症状の長期化
8	ホルモン療法や手術による更年期症状	7	抗がん剤の副作用による日常生活への影響
9	(持続する症状) 痛み	7	ホルモン療法等による副作用(その他)
10	罹患前の状態に戻れるか	10	抗がん剤による外見の変化(爪が黒くなる、皮膚症状など)

c) 大腸がん

第一次調査時は、手術に関連した症状や機能障害が上位にあがっていたが、第二次調査では、薬物療法の副作用症状が上位にあがってきている。薬物療法を受ける患者数が増え、分子標的薬による新たな副作用も出現していることなどがその理由と考えられる。

表 4-4 大腸がんの“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	下痢・便失禁	1	抗がん剤による末梢神経障害（しびれ、違和感等）
2	便秘	2	抗がん剤による副作用症状(その他)
3	治療後の体力低下・体力回復	3	抗がん剤による副作用の持続(その他)
4	排便障害による頻回なトイレで外出時、仕事中落ち着かない	4	治療後の体力低下・体力回復
5	人工肛門の取扱い	5	抗がん剤の副作用症状の長期化
6	罹患前の状態に戻れるか	6	頻回の排便・頻回の便意
7	抗がん剤による副作用症状(その他)	7	抗がん剤による外見の変化（爪が黒くなる、皮膚症状など）
8	持続する術後後遺症（痛み・肩こり）	7	抗がん剤による食欲不振や味覚変化
9	術後合併症・後遺症(その他)	9	抗がん剤による脱毛
10	持続する症状(その他)	9	抗がん剤による下痢や便秘
		9	下痢・便失禁
		9	排便障害(その他)
		9	今後の健康管理

d) 胃がん

他部位と比較し、第一次調査・第二次調査とも、手術に関連した症状などの項目が上位にあがっている。特に、食事、体重減少、体力低下の3つのキーワードが胃がん体験者の悩みの特徴といえる。ただし、第二次調査では、薬物療法に伴う副作用に関する悩みが、上位10位以内に2つ入ってきている。これは、術後補助化学療法の進歩によるものと考えられる。

表 4-5 胃がんの“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位10位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003年	順位	2013年
1	胃切除により食事が少しずつしか食べられない	1	抗がん剤による副作用症状(その他)
2	胃切除後に体重が増えない、体重減少	2	胃切除により食品の選択、献立、摂取方法への気がかりや悩み
3	治療後の体力低下・体力回復	2	胃切除後に体重が増えない、体重減少
4	胃切除による食事に関するその他の影響	4	胃切除により食事が少しずつしか食べられない
5	下痢・頻便・便失禁	4	胃切除後の腹部症状(腹痛、腹部膨満感など)
6	胃切除後のダンピング症状	6	治療後の体力低下・体力回復
7	胃切除後の回復	7	胃切除後のダンピング症状
8	胃切除により食事がつまる	8	抗がん剤による食欲不振や味覚変化
9	便秘	9	胃切除による食事がつまる
10	胃切除による日常生活に関する悩み	10	その他の胃切除後の影響による症状

e) 肺がん

他部位と同様に、第一次調査結果と比較すると、第二次調査では、手術関連の症状から薬物療法の副作用症状へと上位が変化し、6項目が上位10位以内に入っている。

表 4-6 肺がんの“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位10位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003年	順位	2013年
1	治療後の体力低下・体力回復	1	抗がん剤による副作用症状(その他)
2	持続する術後後遺症(痛み・肩こり)	2	治療後の体力低下・体力回復
3	持続する術後後遺症(その他)	3	抗がん剤による脱毛
4	抗がん剤による脱毛	4	抗がん剤による食欲不振や味覚変化
5	(持続する症状) 痛み	5	抗がん剤による副作用の持続(その他)
6	その他の持続する症状	6	抗がん剤による外見の変化 (爪が黒くなる、皮膚症状など)
7	抗がん剤による副作用症状(その他)	7	体を動かしたときの息切れ、息苦しさ、動悸
8	抗がん剤による吐き気	7	罹患前の(病気になる前の) 普通の生活ができないつらさ
9	歩くと目まいや息苦しさ	9	抗がん剤による下痢や便秘
10	体を動かしたときの息切れ、 息苦しさ、動悸	9	持続する傷痕とその周辺の痛み、 しびれ、つっぱり感など
		9	持続する術後後遺症(その他)

f) 子宮がん

上位は、第一次調査・第二次調査とほとんど変化はない。リンパ浮腫に関連した悩みや負担が上位を占めている。

表 4-7 子宮がんの“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位 10 位

背景の色の説明		薬物療法に関連した症状など		放射線療法に関連した症状など
		手術に関連した症状や後遺症など		治療後の生活行動
		その他の症状やその影響（原因が特定できない記述を含む）		

順位	2003 年	順位	2013 年
1	リンパ浮腫によるむくみ	1	リンパ浮腫による症状(その他)
2	抗がん剤による脱毛	2	持続する術後後遺症(その他)
3	(リンパ浮腫) 日常生活における肉体的・精神的揺らぎ	2	排尿障害(その他)
4	放射線療法による副作用症状(その他)	4	リンパ浮腫による歩行・外出・仕事・家事・運動の困難
5	尿失禁	4	抗がん剤による脱毛
6	(ホルモンバランスの変化) 臓器摘出等による更年期症状	6	(リンパ浮腫) 弾性ストッキング装着による不快感・不便さ
7	治療後の体力低下・体力回復	7	抗がん剤による副作用症状(その他)
8	抗がん剤による吐き気	8	リンパ浮腫によるむくみ
9	抗がん剤による副作用症状(その他)	9	イレウス(腸閉塞)による症状・つらさ(その他)
10	持続する術後後遺症(その他)	10	(リンパ浮腫) 日常生活における肉体的・精神的揺らぎ
		10	治療後の体力低下・体力回復